

(フィンランド、スウェーデン、ノルウェー、デンマーク、4カ国の旅)



この度、北欧4カ国、フィンランド、スウェーデン、ノルウェー、デンマーク、を旅しました。写真を中心に旅行記をアップいたします。

まずお金の単位です。*フィンランドはユーロで1ユーロ=130円、*スウェーデンはクローナで1スウェーデン クローナ=15.6円、*ノルウェーはクローネで1ノルウェー クローネ=17.3円 *デンマークはクローネで1デンマーク クローネ=17.4円でした。

5/10第1日目

朝4時30分に家を出て、岡山インターからリムジンバスで関空へ

10時45分関西空港からフィンランド航空でヘルシンキに向かう10時間15分でヘルシンキ到着
乗り換えて、ノルウェーの首都オスロへ、ヘルシンキ航空で1時間30分・オスロ着19時40分

21時00分にノルウェー、ガルデモンのホテルに専用バスで到着。フィンランド航空は日本人の客室乗務員が乗っているのので、言葉の不自由はなし。





5/1 1 第2日目

07時30分専用バスでホテル出発、雪山のなかを走る山岳鉄道のベンゲル鉄道に乗ろうと、ゴル駅をめざした。途中のトイレ休憩をガソリンスタンド兼スーパーで取った。しかしトイレが2つしかない。女性の皆さんが長蛇の列、思わぬ時間を食ってしまった。バスの運転手は必至でゴル駅を目指して走った。また、その運転手がノルウェー人ではなくて、隣の国スウェーデンからの出稼ぎだったので、ゴル駅の場所がはっきりと分かってなかったのである。10時54分発の列車に乗るのに到着したのは11時00分だった。当然列車はゴル駅を通過していた。それから、また、面白かった。その運転手は責任を感じたのか、次の駅まで列車をバスで追いかけるというのである。乗客はあつけにとられて、バスと列車のノルディック競争を観戦することとなった。当然勝負は分かっていた。もちろん山岳列車とはいえ、レールを走る物体の方が速かった。次の駅で諦めて、次の列車に乗ることとした。しかし山岳鉄道、次の列車は4時間後の15時発なので、終点で食べる予定の昼食をキャンセルして、急きょ昼食場所探しである。急に28人が食べれるレストランはない。必死で添乗員が探してくれて、やっと近くのホテルで昼食を取ることができた。添乗員は恐縮して、ビール、ワインなど1人1品の飲み物をサービスしてくれた。乗客の怒りや呆れも収まった。そして15時15分ベンゲル鉄道の山岳列車に乗ったのである。途中最高地点1222mのフィンセ駅でハダングル氷河の絶景を見た。山々は氷河と雪で真白な世界であった。



(スウェーデンのバスと運転手 氷河と雪の山々・・・)





山岳地帯にも人家があり、駅近くで、手を振って見送る人の姿があった。

この日はノルウェーのハダンゲルフィヨルド地区のホテルに泊まる

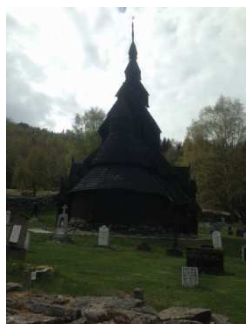
5/12 第3日目

08時00分専用バスでホテルを出発し、ツバンネの滝を見て、フィヨルドクルーズの発着港のグドヴァンゲンへ行く。世界遺産 ソグネフィヨルドクルーズ観光を2時間した。時と自然が造り上げた神秘である。世界最長、最深級のフィヨルドです。夢のようなクルーズでした。フロム到着後レストランで昼食。その後、ボルグンドへ行く。ノルウェーの伝統的な木造教会のひとつであるボルグンド教会を見る。その後ステーガースタイン展望台からフィヨルドの壮大な景観を見下ろした。観光後にフロムに引き返した。フロム山岳鉄道に乗り、フロム→ミュールダール間を往復した。途中最大の見所は ショーズの滝である。音楽が鳴ると、山の妖精が現れ、踊るのである。運がよければ見れるのである。我々はバッチリお目にかかったのである。

(山岳鉄道のVOSS駅、・・ショーズの滝「真ん中の赤いのが山の妖精」わかるかな?、・・山岳鉄道の列車)



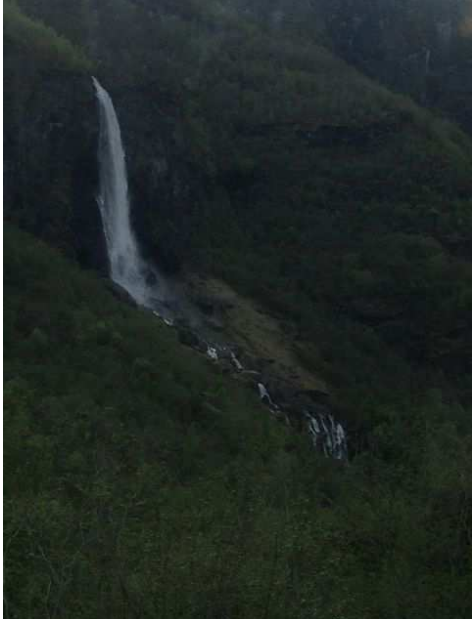
(フィヨルド船上でカモメに餌を・伝統的な木造教会・羊の双子の赤ちゃんに哺乳瓶で・山岳鉄道の乗務員たち)



(・・・ステーガースタイン展望台から見た世界遺産ソグネフィヨルドの絶景・・・)



(・・・ツバンネの滝、・・・滝の売店の看板、・・・山の中に数えきれない滝が・・・)



19時30分に専用バスでノルウェーのソグネフィヨルド地区のホテル到着、宿泊した。

5/13 第4日目

07時30分からフロム溪谷の散策

その後、専用バスでオスロへ・・・レストランで昼食。オスロ市内を観光する。市庁舎、王宮など・・・
観光後、専用バスで港へ・・・

16時45分船でデンマークの首都、コペンハーゲンへ向かう。船の中で1泊、シャワーとシングルベッド
が2個有り、狭いけどゆっくりできた。

(・・・フロム駅、・・・、フロムの宿泊したホテル・・・世界遺産ソグネフィヨルドの景色・・・)



5/14 第5日目

09時45分、デンマークの首都コペンハーゲンの港に船が到着、専用バスで北シェラン島へ行く。
世界遺産、クロンボー城を見学した。小雨が降っていたが止んで観光できた。ミネラルウォーター2本を25デンマーククローネで購入(約435円)、北欧は高福祉高負担の国々です。日本は中福祉中負担と言われている。消費税は25%です。自動車は高いです。180%の税金です。約2倍の値段になります。200万円の車は380万円で買うことになる。日本の大卒初任給は25万円ぐらいかな?、デンマークの大卒初任給は43万円ぐらいだそうです。しかし税金が12万円ぐらいかかるそうです。日本国民は銀行に教育資金、老後の資金を貯金します。デンマークの人は国家に税金として貯金しているという感覚だそうです。だから投票率は95%など高いのです。自分の税金、即ち貯金の監視の目は厳しいのです。日本の投票率35%は恥ずかしいものです。夫婦は共働きです。0歳~3歳まで法律で100%託児所で預かってくれます。4歳~6歳は保育所で法律で100%預かってくれます。これは高収入の人は所得に応じて費用を支払うが、低収入の人は国家が払ってくれます。教育費は高校、大学、大学院まで無料です。医療費は無料です。親は18歳まで子どもを養育するが、生まれた時から自己決断、自己責任で育った子供は18歳からは自分で生活するとのこと。学生の家賃も国が払ってくれるそうです。勉強したくない人は18歳から130ぐらい種類がある実業学校で技術を習得して就職します。夏休み75日、スキー休み10日間、冬休み2週間、春休み1ヵ月など休みは多い。金曜半ドン、土、日休み、宿題はなし、それでも北欧の国々の子どもは世界で1位2位という上位にランクされている。日本はゆとり教育で失敗して、今は逆に授業時間を増やしているがどうしたものか。生活保護費は24万円だそう。物価も高いので単純に比較はできないだろう。

(・・デンマークの北シェラン島にある世界遺産クロンボー城・・デンマークのカラス・・)



そしてコペンハーゲン市内観光。・・アンデルセンの有名な童話「人魚姫」をモチーフに造られたブロンズ像・・人魚姫の像・・アマリエンボー宮殿・・ニューハウン地区・・などコペンハーゲン市内観光・・

(・・ハイ、ポーズ・・ピザが29デンマーククローネ505円・・市内の自転車・ダダをこねる子、母知らぬ顔)



コペンハーゲンの市内は自転車道が完備している。国会議員も自転車で登院する。国会議員は報酬が出るが地方議員は報酬なしでボランティアである。朝6時～とか夜7時からとかに議会がひらかれる。昼は定職をみんな持っている。それでも無報酬議員の競争率は高いそうです。国家に貯金している税金の行方にみんな厳しい目を光らせているのである。市内の道を横断する時は自動車と自転車に気をつけないと危ない。自転車も猛スピードで走ってくる。

(・・・アンデルセン童話「人魚姫」ブロンズ像・・・女王の船・・・港での女王陛下の休憩所・・・)

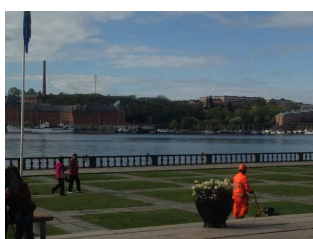


デンマークは海に囲まれている、スウェーデンとの一番短い海峡は 4k m だそうだ。女王や王室の人も船で出かける事が多いそうだ。国民もヨットやクルーザーを持って家族や友人と優雅な生活をしている。遊びを楽しむために働いているのである。

(・・・本家デンマークのチボリ公園である。・・・市庁舎から市街地風景・・・)



(・・・デンマークの首都、コペンハーゲン市街地・・・)



デンマークの首都コペンハーゲンから、スウェーデンを代表する高速列車に乗り、海底トンネルを抜けてスウェーデンの首都ストックホルムへ向かいました。5時間ぐらいかかって、22時ごろストックホルムのホテルに到着。スウェーデンのソレンチューナで宿泊。

5/15 第6日目

08時30分ホテル出発、ストックホルム市内観光

ノーベル賞の晩餐会が開かれる市庁舎を見学・・・



国王、VIPが列席して、二階の通路を歩いて1階のフロアーにノーベル賞受賞者が降りてくる。
市庁舎のフロアーでノーベル賞晩さん会は開かれる。i p s細胞の山中先生もここでの晩餐会に出席した。
(ストックホルム市の議事堂・・・1人1人の席にはマイクが付いている)



(・・・ストックホルム市街地・・・王宮での衛兵の交代式・・・)



(・・・世界遺産ドロットニングホルム宮殿・・・)



(・・・スウェーデンのストックホルムのノーベル賞博物館の本物チョコレート)



(ノーベル賞晩さん会の受賞者が食するディナーです。1人前28000円・・・高かった・・・)



ストックホルムのノーベル賞美術館では今までの受賞者の写真や業績の紹介がありました。

湯川英樹さん、野依先生、山中先生・・・

山中先生がお土産に大量に購入したという「ノーベルの肖像画入りチョコレート」は高いものでした。

10枚入り缶が2200円、親戚と近所だけで6缶買いましたが、晩餐会ディナー1人28000円の高額にひっくり返った日本人は、土産の本物チョコレートに二度ひっくり返りました。そんな理由で皆さんに残念ながらお土産は買うことが出来ませんでした。申し訳ありませんでした。深く反省しております。

・・・スウェーデンのソレンチューナにあるホテルに宿泊する。

5/16第7日目

06時15分専用バスでホテルを出発ストックホルムの空港へ

08時40分フィンランド航空でフィンランドの首都ヘルシンキへ・・・10時35分ヘルシンキ到着

フィンランドの首都ヘルシンキ市内観光

(岩壁をくりぬいて造られた教会・・・シベリウス公演・・・ヘルシンキの国立競技場・・・)



岩壁をくりぬいて造られた世界でも珍しい教会、中にはパイプオルガンや座席かなりある大きな教会だった。作曲家シベリウスの功績を讃えて造られたシベリウス公園です。ヘルシンキ五輪にも使われた国立競技場です。

(テントの露店、昼食にシーフードカレーを食す・・・靴の中に綺麗な花を飾って、観光客を呼び込む土産物店・・・)



(ご婦人たちのリクエストで marimeKKO ヘルシンキ本店・・・カラフルな花模様の陶器・衣服・小物など)



(・・・ヘルシンキ大聖堂・・・靴の中に花を飾り観光客を勧誘する・・・日本の大きい、ノルウェーの小さい)



ヘルシンキ大聖堂は大きな立派なものでした。観光客相手の土産物店のアイデア溢れる客寄せパンダは靴の中に色とりどりの花を咲かす事でした。10数個の靴に種々の花が咲いていました。とつても綺麗でした。日本の果物、野菜、は大きくて、形が良くて、美味しい、・・・北欧のどの国の物も、小さい、形が悪い、味が今いちである。日本の農産物は値段が高くても外国の富裕層は買ってくれると思う。中小企業の精度の高い技術で造った製品とともに農産物も、政府や外務省、経済団体など積極的に販路拡大してもらいたい。・・・ちなみに、日本のリンゴ、と、ノルウェーのりんご、です。比較して見て下さい。

観光後空港へ・・・17時20分ヘルシンキ発のヘルシンキ航空で帰国の途に・・・機中泊・・・

5/17第8日目

08時55分・・・関空に到着

11時35分関空発のリムジンバスで岡山へ帰りました。

帰りは偏西風の影響でヘルシンキ～関空・・・9時間35分でした。ちなみに行きは10時間15分でした。時差は日本～フィンランド・・・－6時間・・・

日本～スウェーデン、ノルウェー、デンマーク、は－7時間です

最後までお付き合いいただきまして、ありがとうございました。

「美しき北欧4カ国の旅8日間」2014・5・10～17 RSK-OB 高谷 昇 NOBORU TAKAYA

(フィンランド、スウェーデン、ノルウェー、デンマーク、4カ国の旅)